

インテリアコーディネーターで
建築士の打合せを覗いてみる

建具選びの 打合せノート

- 建築士の打合せを覗いてみる -



BOA DESIGN

サイトーエリ

二級建築士 / インテリアコーディネーター

はじめに

打合せでよく聞かれます。

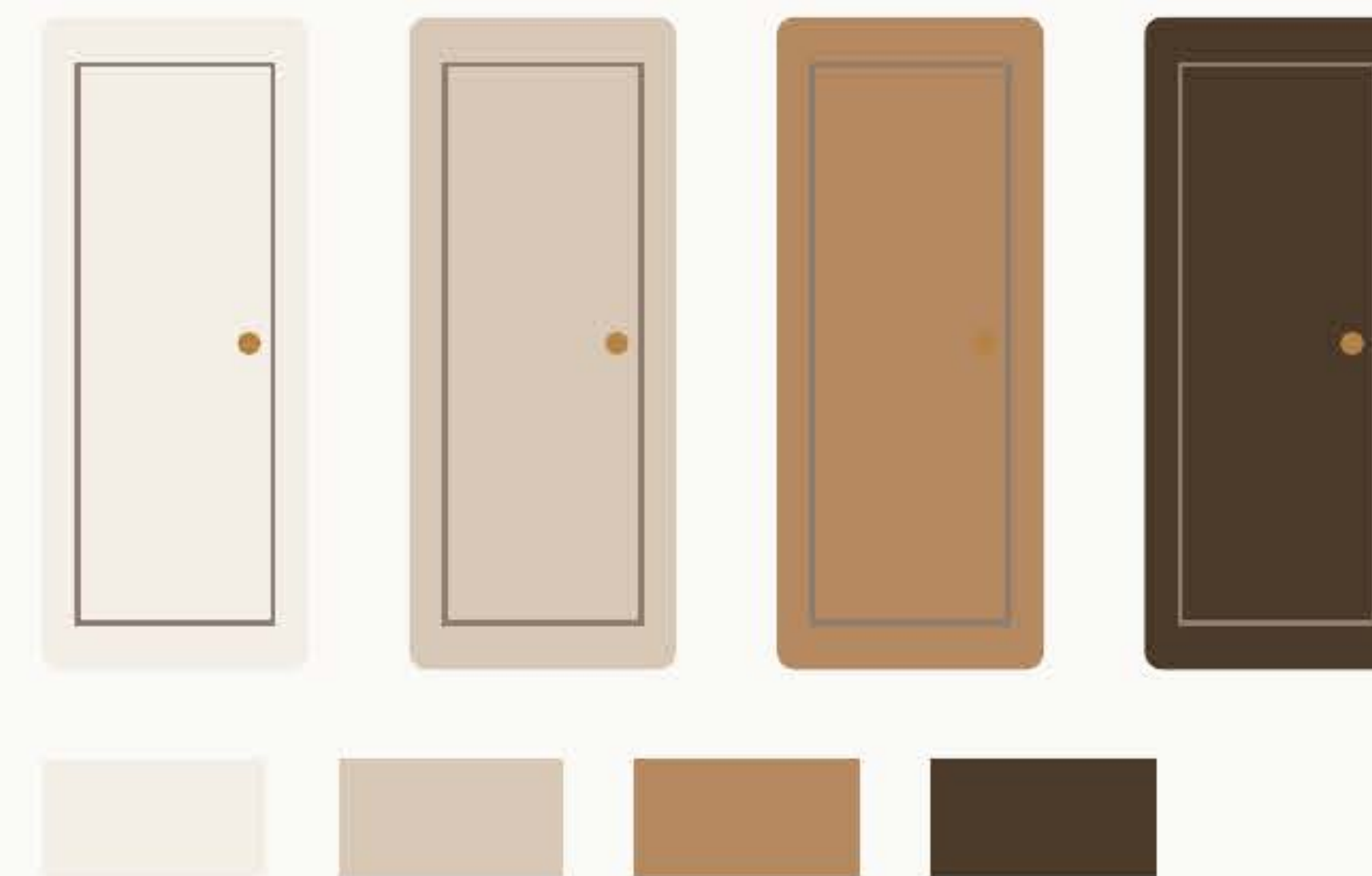
「結局、どの色が正解ですか？」

でも私は、その質問にすぐ答えることはありません。

なぜなら、建具には正解がないからです。

同じ色でも、家によって、暮らしによって、まったく違う答えになる。

この冊子では、建具の選び方ではなく、私が打合せで何を見ているのかをお伝えします。



齋藤メモ

建具選びで迷ったら、色ではなく順番を見直します。

02 Window

最初に見るのは窓

打合せで最初に見るのは建具ではありません。窓です。

朝の光、夕方の影、方角、周囲の建物。

同じ白い建具でも、南向きの部屋と北向きの部屋ではまったく違う色に見えます。

だから私は、まず光を確認します。

齋藤メモ

建具は色で選ぶのではなく、光の中で選びます。



03 Plan

図面から暮らしを読む

図面を見る時、私は壁を見ていません。人の動きを見ています。

帰宅して、荷物を置いて、着替えて、ソファに座る。その流れの中で、どこにドアが必要で、どこにドアが不要なのかを考えます。

建具は、暮らしの動線の一部です。



齋藤メモ

建具だけを考えることはありません。いつも家具と一緒に考えます。

04 Material

色ではなく 素材を見る

サンプルを並べる理由は、色を見るためではありません

木目、艶、手触り、光の反射。

実際の空間では、色よりも素材感の方が強く印象に残ります。



齋藤メモ

小さなサンプルほど、床や壁のサンプルと一緒に
見ます。

05 Floor

次に確認するのは床

床は空間の土台です。

建具選びで迷ったとき、私は必ず床に戻ります。

床が明るいのか。床が濃いのか。床が温かいのか。床がクールなのか。

建具は、床との関係で決まります。

床チェック

明るい床

中間色の床

濃い床

齋藤メモ

毎日触れる床は、家の印象を決める大きな要素です。



06 Priority

家具を主役にするか決める

ここが一番重要です。

家具を主役にするのか、建具を主役にするのか。両方を主役にすると、空間はまとまりません。

ホテルライクな空間ほど、主役は一つです。



家具主役	建具主役
建具は控えめ	家具はシンプル
家具を引き立てる	建築的な美しさ

齋藤メモ

迷ったら家具主役。失敗が少ない選択です。

07 Accent

黒い建具が 難しい理由

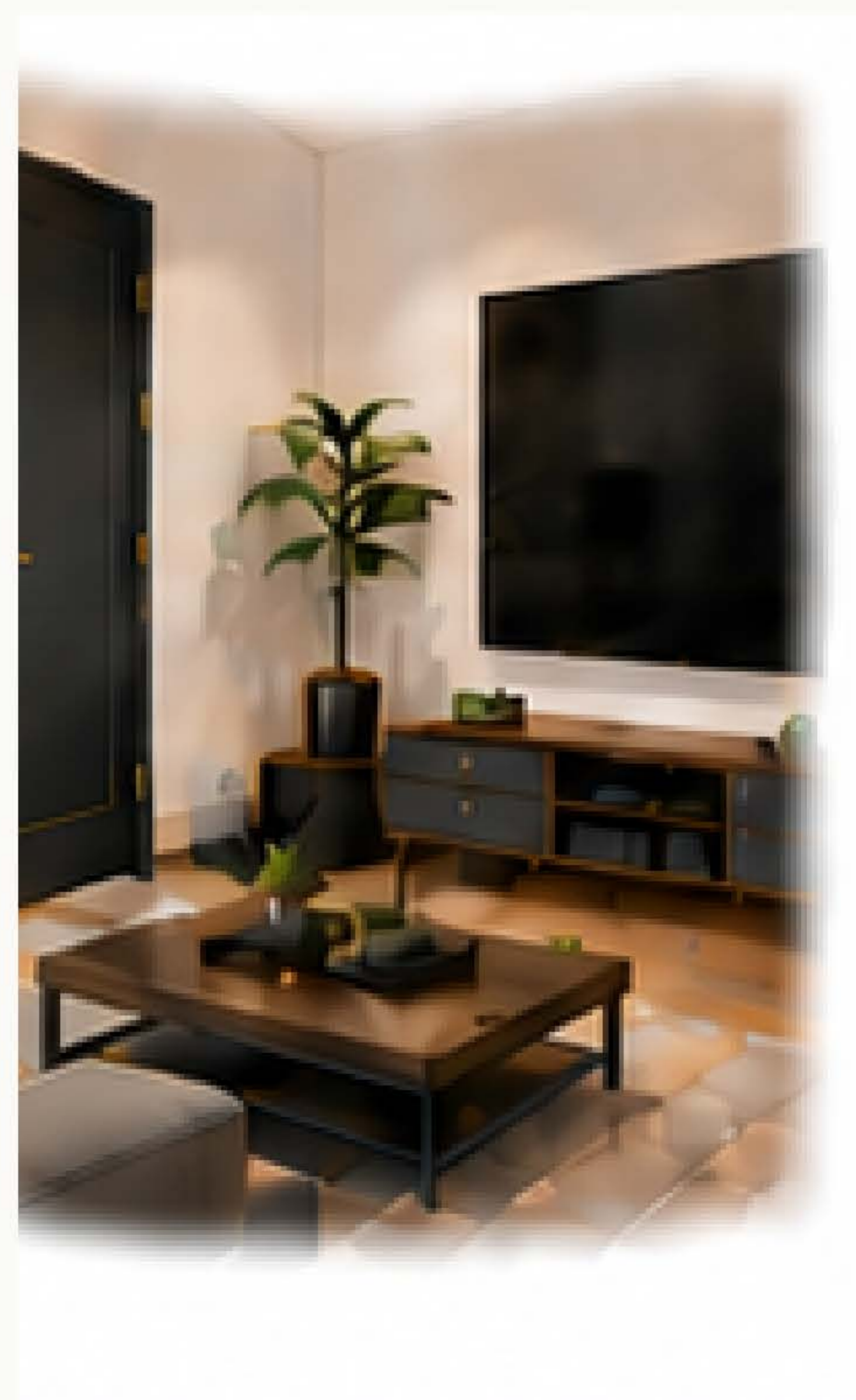
黒い建具は魅力的です。でも、だからこそ難しい。
黒は主張します。空間を引き締める一方で、圧迫感もつ
くります。

成功する家には共通点があります。

- ・明るい床
- ・十分な採光
- ・整理された家具
- ・丁寧な照明計画

齋藤メモ

黒を選ぶときは、ドアより先に照明を考えます。



08

NG Example

やってはいけない 組み合わせ

建具単体では素敵でも、部屋全体で見ると違和感。
そんな組み合わせがあります。

大切なのは、好きな色ではなく、空間全体の調和で
す。



白建具+濃家具



濃家具+低天井



グレイージュ建具

建具色	NG組み合わせ	理由	OK組み合わせ
白建具	濃い床+濃い家具	建具だけ浮いて見える	明るい床+シンプル家具
黒建具	暗い床+低い天井	圧迫感が強すぎる	明るい床+高い天井
グレイージュ建具	赤みの強い床	色の方向性が合わない	グレー系・ベージュ系の床

齋藤メモ

建具だけ見て決めない。部屋全体で見る。

実際によく使う 建具カラー

実務で採用率の高い色です。派手ではありません。でも長く暮らしても飽きにくい。

私は、10年後も好きでいられるかを考えて選びます



プレシヤスホワイト
まっすぐ上に伸びる白



モノホワイト
少しグレーを含んだ白



トープグレー
温かみのある落ち着いたグレー



クリエモカ
柔らかいベージュブラウン



ダルブラウン
落ち着いた深みのあるブラウン



オフブラック
重すぎないやさしい黒

齋藤メモ

定番色には、定番になる理由があります。